

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語の正答率は、全国平均と同程度であると考えられますが、領域別で見ると課題が見られます。特に、「話すこと・聞くこと」領域では、「話し合いの話題や展開を捉え、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること」に課題があります。また、「書くこと」領域では、「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」にも課題があります。記述問題への抵抗感をなくし、「書くこと」の基礎的な「知識・技能」を身に付ける必要があります。

・数学の正答率は、全国平均を若干上回っていますが、あまり大きな差はなくほぼ同程度であると考えられます。問題別に見ると、「理由を説明する」等の記述式の問題で無回答率の改善が見られたものの、正答率は依然として高くありません。このため、解答を書く前に何を説明したいのかを明確にすることに課題があると思われます。また、「等式のある文字について解く」や「確率を求める」等の問題の正答率は全国平均を大きく下回っており、定期的な復習が必要であると考えられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」においては、時間が少ない傾向を示しています。「自分には良いところがあると思いますか」では、肯定的な意見が多く見られます。

・課題となる項目

「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」「1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」では、時間が短い傾向が見られます。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ICT機器を利用し、生徒が主体的に学習する場面をより多く設定して、自ら学び・探求する授業を目指して授業改善を進めていきます。また、家庭学習においてもICT機器を効果的に利用できるよう、家庭への持ち帰りを推奨します。
- ・各教科、総合的な学習の時間、特別の教科道徳を含めて、「言語活動」を意識した活動をより積極的に取り入れ、特に「自分の考えをまとめる」力や、「自分の考えを発表する」力を育成するように計画していきます。
- ・生徒が「安心・安全」に通うことができる学校を実現するために、「いじめ」の早期発見・根絶に取り組み、生徒とともに協力して学校づくりを目指します。
- ・健康や食に関する指導を行い、生徒が元気に学校に登校できるよう、引き続き健康づくりを推進していきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭学習の時間を確保するため、学習する環境作り（ICT機器の利用も含む）にご協力ください。
- ・スマートフォンやゲームの利用（ネットモラルを含む）について家族で話し合い、ルールを確認してください。
- ・1日の出来事などについて、家族で話す時間を週に一度は作ってください。